

研究協力のお願

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

動的コリメータ回転を伴う新規 VMAT システム臨床導入における研究
1. 研究の対象および研究対象期間 2021年1月1日から2026年12月31日に昭和医科大学病院で高精度放射線治療を行った患者さん。
2. 研究目的・方法 放射線治療装置等の性能向上により、強度変調放射線治療（intensity-modulated radiation therapy：IMRT）回転型強度変調放射線治療（volumetric-modulated arc therapy：VMAT）などの病巣への線量集中性に優れた高精度放射線治療の普及が急速に進んでいます。特に VMAT は前立腺、頭頸部をはじめ、有用性が明らかになっており、広く普及してきました。しかし、高精度放射線治療の導入・運用にあたってはこれまで以上に精度の高い放射線治療技術が要求され、その治療計画や線量検証は非常に慎重に行う必要があります。 本研究では昭和医科大学病院で導入された放射線治療装置における安全性や治療計画の妥当性について明らかにすることを目的とします。過去に放射線治療した患者さんの治療計画用 CT 画像データを用いて放射線治療計画の手法についての解析を行い、従来法との比較検討をします。
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 放射線治療に関する情報（照射野、処方線量、照射開始日、照射終了日、DVH パラメーター、治療計画 CT 画像、セットアップ画像）、患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬、有害事象、転帰）および臨床検査項目（CT 画像、MRI 画像、FDG-PET/CT 画像）
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学 大学院保健医療学研究科 宮浦 和徳

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院

氏名：宮浦 和徳

住所：東京都品川区旗の台 1 丁目 5-8

電話番号：03-3784-8000(内線:3931)